

「要配慮者のためのマイ・タイムライン講習会」実施報告について

1 目的

自ら避難行動をとることが困難な要配慮者（高齢者・障がい者）にとって、風水害時に備えた日頃からの避難に対する準備や心構えは、非常に重要である。

そこで、自分や家族の避難行動計画であるマイ・タイムラインを作成することで、要配慮者が適切な避難行動ができ、風水害に対する防災意識の向上を図ることを目的として開催した。

さらに、支援者に対しては、自身の避難行動計画とともに、日頃から支援を行っている要配慮者の避難支援を考える契機とするため「サポート・タイムライン」を紹介した。

2 概要

(1) 日程・会場・参加者数一覧

回	日 時		会 場	参加者数	対象者
1	7月20日 (火)	午後	オンラインで実施	約90団体	要配慮者の支援者 (介護事業所等)
2	11月4日 (木)	午前	消費者生活センター (大集会室)	12人	高齢者及びその関係者
3		午後		12人	障がい者及びその関係者
4	11月12日 (金)	午前	オンラインで実施	14人	高齢者・障がい者 及びその関係者
参加者合計				約90団体、38人	

(2) 主な参加団体等

支援者団体等	介護事業所、特定相談支援事業所、訪問看護ステーション、有料老人ホーム、グループホーム、障害者通所施設、医療機関（病院）、老人いこいの家、地域包括支援センター、地域福祉コーディネーター 等
高齢者関係団体及び障がい者関係団体	大田区シニアクラブ連合会、大田区肢体不自由児(者)父母の会、大田区手をつなぐ育成会、大田区重症心身障害児(者)を守る会、特定非営利活動法人大身連、大田区視覚障害者福祉協会、大田区聴覚障害者協会、社会福祉法人大田幸陽会、大田区自立支援協議会 等
その他	民生委員児童委員、おおたユニバーサルデザインのまちづくりパートナー

※上記のほか、他の自治体職員がオブザーバーとして参加

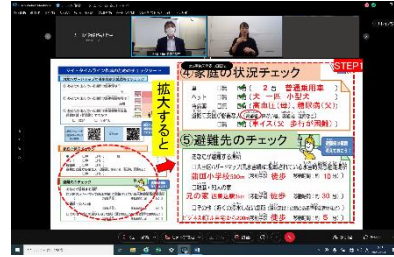
(3)内容・講師

- ア マイ・タイムライン作成講座
- イ 大田区の要配慮者対策について

一般財団法人河川情報センター職員
福祉管理課職員



参集型での実施



オンラインでの実施

3 参加者からの主な意見

- ・施設職員として、災害発生時のシミュレーションができるので、マイ・タイムラインは有効だと感じた。
- ・支援者の立場であったとしても、自身の身を守ることができないと要配慮者を支援できないと痛感した。
- ・大変勉強になった。他の方にも受講を勧めて地域全体で防災意識を高めたい。
- ・昨年も参加したが、この講習会は何度も参加することにより、より安全対策等に効果があるのではないかと感じた。